

I. 調査の概要

1. 目的

本調査では、企業の側における女性従業員への期待やニーズ、それに基づいた現実的対応、工夫などを明らかにすることを目的とする。また、日常の業務を通して、女性が意欲をもって働くようになったり、業績向上につながったというような具体例、あるいは、効果を期待したにも関わらず思うような結果が得られなかった事例などについて紹介してもらう。

対象となる企業の業種を限定していないため、1つ1つの企業での仕事はまったく異なっている。そうした個別企業の事情を理解するために、調査ではまず、〈事業内容と実際の業務〉を詳しく聞いていく。さらに、女性だけでなく男性従業員にとっても働きやすい環境整備や仕事の進め方における会社の方針は重要であるため、男女従業員に対して、生産性向上のために行っている〈仕事の工夫〉、〈人材育成の取り組み〉を尋ねたのちに〈女性従業員への対応〉を語ってもらうこととする。

2. 方法

各企業に対して90～120分のインタビューを行い、録音データを後日文字化した。インタビューは、2～3名で行った。

3. データ

おもに東京中小企業家同友会女性部及びNPO法人Arrow Arrowより紹介をうけた中小企業9社の経営者（一部従業員を含む）への聞き取り調査を実施した。半構造化インタビューにより得られた内容をデータとする。

なお、ここでの中小企業とは従業員300名以下の企業である。

調査は2017年3月から2018年2月に実施しており、記載内容は調査時点のものである。

